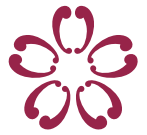


# 佐倉市議会だより



2023年2月1日  
（令和5年）

発行：佐倉市議会 編集：広報公聴委員会 〒285-8501 佐倉市海隣寺町97番地 TEL 043-484-6254 FAX 043-486-2508  
佐倉市ホームページ <https://www.city.sakura.lg.jp/> メールアドレス [gikai@city.sakura.lg.jp](mailto:gikai@city.sakura.lg.jp)



## 先進事例に学ぶ ～委員会の行政視察～



### 総務 令和4年10月6～7日 石川県白山市「SDGsの達成に向けた取り組み」 金沢市「DXへの取り組み」

白山市では、SDGsの普及啓発活動や大学・企業との連携協定などによる「SDGsの達成に向けた取り組み」について、金沢市では、行かなくてもいい市役所を目指した電子申請サービスの充実や庁内のデジタル人材育成に力を入れた「DXへの取り組み」について学んだ。



金沢市役所にて

### 文教福祉 令和4年10月4日 茨城県常総市「個別避難計画」

常総市では、災害時に高齢者や障害者等の自ら避難することが困難な避難行動要支援者ごとに作成する避難支援のための計画（個別避難計画）の作成を進めている。計画作成に取り組むことになった経緯、現状及び今後の課題について学んだ。



オンライン形式で実施

### 経済環境 令和4年10月6～7日 長崎県大村市「観光交流のまちづくり」 長崎市「オープンイノベーションの手法」「スタートアップ支援」

大村市では、豊かな自然や歴史的・文化的な遺産等の観光資源を活用した「観光交流のまちづくり」について、長崎市では、地域における新たな産業を育てるために不可欠な「オープンイノベーションの手法」「スタートアップ支援」について学んだ。



長崎市役所にて

### 建設 令和4年10月20～21日 佐賀県佐賀市「佐賀市排水対策基本計画」 福岡県久留米市「中央公園官民連携魅力創出事業」

佐賀市では、国の「100mm/h安心プラン」として登録された「佐賀市排水対策基本計画」を、久留米市では、市の中央公園の芝生エリアにPark-PFI制度によりカフェ等を有する新施設「KURUMERU」をオープンした「中央公園官民連携魅力創出事業」について学んだ。



佐賀市役所にて

### 議会運営 令和4年10月27～28日 香川県坂出市「政策提言・議員提案条例」 高松市「議会BCP(業務継続計画)」

坂出市では、市民からの要望等を市政に反映させるにあたり、各種団体との意見交換会等を経た後に実施する市長への「政策提言」や議員発意による「議員提案条例」について、高松市では、有事における議会機能の早期回復を図ることなどを目的とした「議会BCP(業務継続計画)」について学んだ。



坂出市役所にて

## 11月定例会

会期 令和4年 11月28日～12月19日

### 一般会計補正予算など 市長提出23議案を審査

佐倉市議会は、11月28日から12月19日までの22日間にわたり、令和4年11月定例会を開催しました。今定例会では、市長から「令和4年度佐倉市一般会計補正予算」など議案22件と諮問1件が提出され、審議の結果、可決・承認・同意しました。※議案の詳細は、5ページに掲載しています。

議員提出議案については、「佐倉市議会委員会条例の一部を改正する条例の制定について」など12件がそれぞれ提出され、審議しました。

また、一般質問には、各会派の代表質問に6人、個人質問に11人が登壇し、市政について広範囲の質問を行いました。

### 第17回 佐倉市子供議会が開催されました

子どもたちに、市議会の模擬議会を通して、地方自治・地方行政の仕組みについて学習し、地域に対する関心を高めてもらおうと、11月8日に3年ぶりの佐倉市子供議会が開催されました。

市内小学校11校から22名の児童が、議長、副議長、議員となり、登壇しました。



市議会本会議場にて

開会にあたり、西田市長、高木市議会議長の挨拶があり、引き続き一般質問が行われました。保護者や引率の先生方が傍聴席で見守るなか、小学生議員は、市政全般の課題や取り組みにつ



いて、幅広い分野にわたり質問をしました。これに対して市の職員が答弁するやり取りは、市議会の本会議さながらの光景でした。



各小学校代表の皆さん

市政に関する

一般質問

11月定例会では、12月5日から12月8日までの4日間にわたり、一般質問を行い、市政に対し活発な議論が展開されましたので、その一部を掲載します。

今定例会は、コロナ対策による質問時間の短縮をせず、通常通りに実施しました。

詳細については、市役所1号館2階市政資料室・市内各図書館にて会議録(2月中旬発行予定)の閲覧、または、佐倉市議会ホームページの会議録検索システム(2月中旬配信予定)からご覧いただけます。

一般質問通告要旨

代表質問 ※は持ち時間60分、それ以外は30分。( )内は会派名

Table with 2 columns: Member Name (e.g., 平野裕子, 鍋田達子, 石井秀明) and a list of 5 questions for each member.

◎上記の通告内容は、質問者から議長に文書で通告のあった内容に従い、大項目のみ掲載しています。

代表質問



市政運営評価、今後の意向

市長任期の最終年を迎えているが、これまでの市政運営に係る自身の評価は、また、現在の政策的課題は、さらに、来年4月の市長選に立候補の意思はあるか。

厳しい4年間だったが、多くの関係者の理解、協力で、非常事態に対応しつつ、私が目指す「未来に希望が持てる魅力あるまちづくり」を前進させることができた。感染対策や防災対策、社会経済情勢の変化への対応、アフターコロナを見据えた新たな施策展開等が求められており、目指すまちづくりは道半ば。来春の市長選挙に挑戦することとした。

財政硬直化が進行する中、市民生活を支える期待が寄せられる一方、昨今の物価高騰は市の財政面にも大きな影響を与えている。どのような方針で予算編成に取り組むか。

「第40回佐倉マラソン小出義雄メモリアル」と題した今大会は、来年3月26日に開催予定。感染症の影響による主な変更点は、定員の縮小、感染症対策に伴う参加費の値上げ、日本陸連が示すガイダンスに沿った大会運営等。関係機関との協議等を行って、今後万全な準備を進める。

健康増進施策について 目の病気の緑内障の早期発見について伺う。

子育て支援の拡充について 伴走型相談支援とともに『出産・子育て応援交付金』について、佐倉市の現在の検討状況を伺う。

地域防災力の向上について 市内公共施設に設置の86台全てのAEDへの三角巾の配備について伺う。

レットも配備したい。  
佐倉市学校施設長寿命化計画について

同計画の短期間での見直しについて伺う。

答 上位計画の改定や社会環境の変化等を考慮した修正、状況変化に応じた見直しが必要であると考える。

問 将来の学校施設の在り方を検討し持続可能な管理・活用を図ることを要望する。



自由民主党 石井秀明

西田市政について  
市長の二期目に向けた抱負を伺う。

答 私の理想とする将来都市像『笑顔輝き 佐倉咲く みんなで創ろう』「健康・安心・未来都市」の実現のために引き続き市長として市政を任せていただきたい。新型コロナウイルスワクチン接種

問 オミクロン株対応ワクチンには2種類あるが、どちらを打つべきか。オミクロン株対応ワクチン接種後に従来型ワクチンの接種は可能か伺う。

答 オミクロン株対応ワクチンは、従来型を上回る感染力予防効果があるとされているため、早く打てるワクチンの接種を推奨しており、接種回数にかかわらず1人で接種完了となる。

佐倉市の農業

問 持続可能で環境に優しい農業を目指すためには、抜本的な農業の生産体制への支援が重要と考えるが、

市の考えを伺う。

答 有機栽培に関する専門家によるセミナーや研修会を予定し、生産技術向上に向けた支援を行っていく。

問 有機農産物の学校給食への導入にあたっては、現行の給食費に影響が出ない体制づくりが重要と考える。教育委員会の考えを伺う。

答 有機農産物導入時の価格差に対する補助については、オーガニックビレッジの取り組みの中で、市全体で総合的に検討が必要。

森林環境譲与税

問 森林環境譲与税交付金の今後の活用方法を伺う。

答 森林環境譲与税管理運営委員会にて検討し、適切な森林整備やその促進につながる取り組みについて活用していく。

JR佐倉駅前活性化

問 佐倉市の南の玄関口JR佐倉駅前の活性化に向けて、市と駅前自治会や商店会の連携について伺う。

答 地域住民と地元自治会、商店会が連携し、佐倉SL100周年プロジェクトに対し市が後援を行った他、イベントの開催支援や広報イルミネーションの実施を街中にぎわい推進事業により補助などを行った。

佐倉市への人口流入、定住に向けた取り組み

問 人口流入・定住促進に向け、子育て世代への金銭的支援策として、子ども医療費の高校3年生までの拡充は大変有益だと考えるが、市の制度設計の現状を伺う。

答 保護者の負担を軽減できるよう、可能な限り早期に、高校生においても現物給付方式での医療費助成の実施に向け、制度設計を検討するよう指示をしたところである。

市民ネットワーク 五十嵐智美



市長の政治姿勢について

①コロナ感染症対策

問 夏の第7波で発熱外来に電話が繋がらず自宅療養者が多発。発熱外来増設を訴える声が多数あった。八千代市は助成金で発熱外来増を実施し、習志野市や千葉市は第8波の感染拡大に備え自宅に置いておく抗原検査キット購入に助成金を支給している。市でも医療に関わる独自施策を早急に実施すべき。今議会には提案が何一つない、見解は。

答 発熱外来の指定や抗原検査キットの配布は県が主体となっており、市独自の対応は何か。

問 そうであれば補完する市独自の対応は何か。

答 保健所機能を維持するための支援だと考える。

問 市独自対策がないと分かった。検討を要望する。

②旧統一教会との関係

問 市長は7月参院選時に自民党の候補者応援のため、公務として旧統一教会地域支部で挨拶。さらに前回の市長選では選挙応援を依頼したことが報道で判明した。直接市民に説明がなく、市長としての説明責任を果たしていない。見解を伺う。

答 テレビや新聞等の報道を通して説明を行っている。

問 それで説明したというのは詭弁でしかない。前回の市長選で選挙応援を依頼した事実はあるか、ないか。

答 2019年の私の選挙の時に伺ったことは事実。

問 訪問が事実で、その時にお願したことにならないかを確認する。どうか。

答 その会場にいる方の捉え方だと思う。

ひまわり会と市民オンブズマン

問 新聞報道の「佐倉市勤務の男性が2013年に自殺した。過労死ラインの月80時間前後の時間外労働が続き、連日怒鳴られなどした」は事実か。

答 当時、教育委員会に在籍していた職員が亡くなられたことは聞いています。

問 職場の中でハラスメントを見聞したら、通報する制度になっているか。

答 当事者に限らず第三者や匿名でも受け付けている。

「親亡き後」の障がい者の地域生活支援について

問 グループホームの数は。市内の総定員200名、利用率75%。日中支援型は、定員20名で利用率100%。

でも地域生活を可能とするため、地域全体で支えるサービス提供体制の構築を目指す。来年度後の取り組みを目指している。

問 自覚をして佐倉市はもっと積極的に進めてほしい。

戦没者追悼式と遺骨等  
追悼式は、11月12日忠霊塔前で開催された。安置されている遺骨等の数は。

答 佐倉市1041柱、成田市1001柱等合計4890柱が安置されている。

問 壺の氏名を判別しやすく、名簿を複製して閲覧しやすく、等の取り組みは。

答 名簿については、遺族会と相談し慎重に検討する。

日本共産党 萩原陽子  
介護保険制度改定について  
26億円積まれた市の介護給付費準備基金を活用し予定される改定の際に保険料の引き下げに使うべき。

答 値下げは考えていないが、研究課題とされている。新佐倉図書館の検証  
工事完了後の内覧会で壁のひびなど複数の不具合が見つかった。完成検査では不具合が発見されず支払いは全て終了したのか。

答 検査で工事完成を確認し、請負代金を支払った。

問 不具合箇所は補修は建設者の責任で終了したか。

建設直後に複数の不具合が発見された事例は他に

あるか。建物名を伺う。

引き渡し後に不備が全くないという建物はない。

問 佐倉市の完成検査はこれが通常なのか。

答 そう考えて結構だ。

問 総額2億円を超す特注の書架や机などの備品検査は契約検査課が行うのか。

答 教育委員会が担当する。合計4621点もの特注備品は契約した契約検査課の責任で行うべき。

問 生後57日から3才までの乳幼児の預かり保育を行うが、ベビーカーによる避難の安全性を確認したか。

答 職員が車椅子で試走を行い安全確認を行ったので、ベビーカーでの避難も支障はないと考えている。

ふるさと広場拡張整備計画  
市民の憩いの場所の駐車料金は有料化されるのか。

答 決定はしていない。市民、事業者の意見を聞く。



個人質問 志津地区の消防力強化

問 建て替え時期を迎えた志津消防署の老朽化対策及び勤務環境の整備は、待ったなしの状況であるが、隣接する市下水道事業所管の志津中継ポンプ場が、同じく耐震補強工事を予定しており、志津消防署の整備時期との重複による遅れが懸念される。市は、具体的にどう協力し進めるか伺う。

答 ポンプ場は、稼働から既に42年が経過し施設の耐

震化が必要となり、電気設備や老朽ポンプなどの更新工事と建屋の耐震化工事を令和6年度～9年度に実施する計画。志津消防署の計画は、ポンプ場の詳細設計において、消防本部と工事計画の協議を行っており、今後消防署の整備工事に影響がないよう調整する。

志津地区市街地の消防署数の不足について伺う。

基準を満たしていないことは、消防組合の管理者として、また、市長としても認識している。現在、西志津スポーツ等多目的施設用地内に消防署用地を確保しているが、具体的な整備計画はない。消防組合と協議の上、佐倉市全体の消防力の向上を図るため、課題として取り組む。



徳永由美子 自由民主党さくら

高齢者難聴の早期発見

※ヒアリングフレイル対策として、簡易的な無料の調査で早期に耳鼻科受診や補聴器使用等につなげる取り組みも必要ではないか。

周囲の方の気づきが悪化の防止と医療受診につながるため、周知啓発を図る。中学校でのきこえの教室

小学校に続き、中学校でも同様のきこえの教室を開設して、地域の中学校に通える整備をお願いしたい。

令和6年度の開設に向けて準備を進めていく。小学校区に子どもの居場所づくり

子どもたちの居場所のためにも場が必要。空き家活用ができれば常設のフリースクールのような居場所もつくれる。所有者と活動団体とのマッチングを事業化できないか。

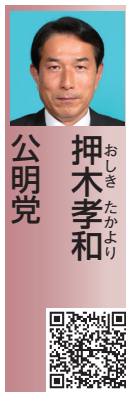
空き家バンク制度を活用するなど関係部署と連携し、対応していく。

欠席児童生徒へ学びの保障

不登校の児童生徒数は386名。家庭にいても配信授業で学べる環境が必要。

全ての学校で体制は整っている。誰一人取り残さない教育を推進する。

オンライン時間割の策定なども事業化すると良い。



押木孝和 公明党

人口減少問題と持続可能なまちづくりについて

佐倉市の人口減少、少子高齢化対策としての子ども医療費助成制度の拡充について、私自身3年前より訴えており、前議会での市長答弁で「実施に向け検討を指示している」とのことだったが、現在どのように検討をされているのか伺う。

子ども医療費助成制度の対象を高校3年生まで拡充することについて、市長より可能な限り早い時期での事業開始に向け検討するよう指示を受けている。助成対象年齢については、現段階で就学の有無は問わず、18歳になる年度末まで拡充する方向で検討している。

補聴器購入支援について

難聴を放置すれば、孤立化や認知症のリスクが高まる。高齢者の方々への補聴器購入に対する助成について、市の考えを伺う。

国・県の財政支援の状況、近隣自治体の動向などを踏まえ、慎重に検討する。

空き家問題について

佐倉市の空き家の現状について伺う。

佐倉市の空き家数は約7千戸、空き家率は全戸数の約9.3%で、市内の空き家は年々増加している。

教職員の働き方について

佐倉市内の小中学校の平均時間外労働を伺う。

令和4年6月の調査で月1人当たり、小学校51時間20分、中学校72時間4分。

過労死ラインと言われる80時間を超える教職員の割合を伺う。

小学校が約11.6%、中学校が約41.5%。

休日の部活動の地域移行について伺う。

文科省は令和5年度以降、休日の部活動の段階的な地域移行を示している。国、県の指針に基づき、情報収集を進めている。

先生と生徒の信頼関係で成り立つ部活動を望む。

認知症対策について

認知症の方が行方不明になったときの対策を伺う。2市1町SOSネットワーク事業にて、行方不明者の捜索依頼や、GPS位置情報検索サービス等の初期費用の助成等を行っている。特別養護老人ホームの待機者数を伺う。

本年7月現在360名。計画されている特別養護老人ホームの開設年度と定員数を伺う。

上座地区に100床整備計画している。令和6年度中に開設予定。



玉城清剛

まちづくりについて

西志津では社協を中心に15自治会共催で、交付金を活用し、三世交代の敬老ふれあいフェスタを開催。対象者2366人中53%超の参加。来場者3千人以上が演奏や模擬店等を満喫した。本企画に市長の意見は。

尽力に感謝する。安全安心に集える日常を取り戻す必要性を強く感じた。

高齢者への感謝を込め、1人500円の補助を希望。

定期的な見直し時に必要性を検討する。

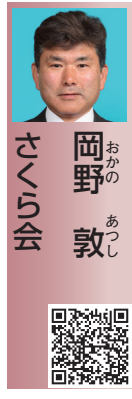
本事業へ助成の方策は。自治会等自治振興交付金の活用が可能。

空き家対策は住環境と有効活用の観点から重要課題。令和3年度の相談件数と内容、今後の方策を伺う。

空き家相談1555件に対し管理不全120件、うち66件が改善。主な内容は樹木・雑草の生い茂りなど。今後、相談会やセミナー、空き家バンク、中古住宅リフォーム補助等により総合

的な空き家対策に取り組む。

住環境の整備とインフラの強化、主要駅を起点に交通網の整備は急務である。環境のよい佐倉で暮らし、勤めは都心へとベッドタウン化が今後の課題である。



岡野敦 さくら会

総合的な危機管理について

危機管理事案への基本的な方針と現状を伺う。

危機事案により対策本部を設置し、情報の一元化で迅速な意思決定を行い、組織的に取り組む。

業務継続計画の課題等について伺う。

平成30年に策定後、大きな改定は行っていないが、今後も実効性のある計画になるよう定期的に見直す。

犯罪被害者等支援について

犯罪被害者等支援条例について、市の考えを伺う。

八街市、酒々井町と歩調を合わせ協議を重ね、県と2市1町が補完し合える条例制定を目的に進める。

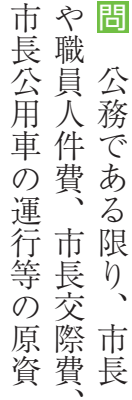
犯罪や事故に巻き込まれた被害者やその遺族の心身の早期回復を願い、どんな支援ができるか。

必要な方が必要ときに、必要な支援を受けられるよう、県と連携を図り、支援事業の周知に努める。

マイナンバーカード

マイナンバーカードの普及が進まなければ、充実した市民サービスを受けられないおそれがある。普及に努めていただきたい。

希望する市民が速やかに入手できるよう職員一丸となって取り組む。



宇田実生子 ひまわり会と市民オンブズマン

旧統一教会 市長公務問題

公務である限り、市長や職員人件費、市長交際費、市長公用車の運行等の原資は市民の税金。市長が旧統一教会の佐倉教会で開催された参院選の応援会や関連団体主催イベントに参加、挨拶を公務と判断した理由、政教分離の原則、公平性、中立性からの見解を伺う。

市長車等の使用に関する要領に基づき判断。選挙応援は、政府要職経験者の国会議員候補者とのパイプづくりが市の課題解決や市政発展につながる。ピースロード開催趣旨は、平和の実現、コロナ終息など公益の増進に資する。宗教的儀式を伴わず、旧統一教会関連施設と認識せず参加。イベント等の趣旨に沿った賛意を示した挨拶との市長からの報告を受け、宗教的行為には当たらないと判断した。

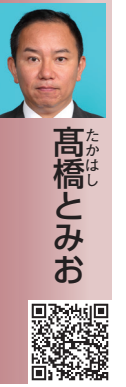
市長を補佐する秘書課職員が、主催者、開催場所などを事前に調べ進言しなければいけない。見解は。

秘書課のチェックの徹底は必要であった。今後、市民の皆様から疑念を抱かれないように努める。

市民からの写真で1名の市議の参加を確認。参加市議は、早く経緯の説明を。

希望する市民が速やかに入手できるよう職員一丸となって取り組む。





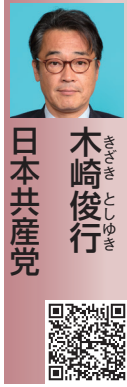
高橋とみお

住民自治と地域一括交付金

住民自治の衰退の問題がある。佐倉市でも、自治会加入率は年々減少傾向だ。そこで、地域まちづくり事業について、令和元年に14団体あった活動団体数の推移を伺う。

現在活動中の地域まちづくり事業実施団体数は10団体。

活動団体が減少している。住民自治活動を活性化するためには、地域一括交付金制度も検討すべきだ。事例を紹介する。総社市では小学校単位で「地域づくり協議会」をつくり、そこに地域住民が用途を決定することができると、自由度の高い交付金を年一括で支給する。その協議会の中に地域福祉、防災、交通、防犯などの部会を設定し、話し合いの中で決定した優先順位に基づき交付金の使い道を決定する制度だ。また、市は単に交付金を拠出するだけでなく、各協議会と連携をとり、しっかりと関係構築することが成否の鍵だと聞く。今後の超高齢化に伴う地域社会の崩壊を食い止める必要がある。本方式にかかわらず、多角的に検討いただきたい。



木崎俊行

旧統一協会関係について

市長は知人に頼まれて団体確認もせず、一人で行った。これは政治活動で私用だ。公用車代や人件費返納が必要だ。アウトである。

当該場所が旧統一教会関連施設と認識せず市民の皆さんに支援を求めた。

観光WCOA構想よりも、子育て施策の拡充を

夢咲くら館や観光WCOA構想に係る、補助金を除いた市の自主財源は幾らか。

夢咲くら館の建設等に係る負担額は約24億円。ふるさと広場拡張整備事業は、土地購入費を除く整備費用のうち、負担額は約6億5千万円。飯野II-31号線の負担額は約5億円を見込む。

医療費18歳まで助成拡大を

市の財政負担は幾らか。

約8700万円である。

国保税の均等割額を18歳まで半額に

実行の市負担は幾らか。

約2720万円。

学校給食の無償化を

小中学校一斉に無償化した場合の市負担は幾らか。

約6億8千万円である。

ゼネコン優先、順序が逆だ。大規模観光施策は着実に子育て支援は後回しか。子育て支援施策も、他の施策同様着実に推進した。

私が6月議会で提案したハザードマップの考慮は。全小中学校でハザードマップに照らして確認した。大雨などで、土砂災害が予想される場合は、別の道での通学、保護者による送迎等が必要な箇所はあったが、通学路の変更はない。

以前から議会質問している校則の見直しの状況は。昨年度小中学校全34校で実施。児童生徒の話し合いや、保護者の意見を踏まえ改定し、各校HPに掲載。

毎年見直しをしていくとのことだが、今年度は。靴下の色の変更など。

中学校全校で、来年度から、女子生徒がストラックスを選択できるよう準備している。

新佐倉図書館(夢咲くら館)

10月議員内覧会で確認した図書館サイレントルーム(学習室)の壁のひびは。コンクリートの乾燥収縮が原因で構造に影響ないと考え、補修し経過観察中。

市民に説明が必要では。重大な不具合が発見された場合には、公表も検討。

子どもの貧困対策について

子どもにとって家庭・学校以外の第3の居場所が必要。今後市が主体となつて、子ども食堂や学習支援事業を行う考えはあるか。

市民の主体性を尊重し、側面支援をすることが重要。通園バス等置き去り事件

保護者が欠席連絡をしていない場合、園からの確認があれば防げたはず。保育士の人員不足で確認できないような状況はあるか。

保護者へ確認連絡の徹底を周知。職員が不足し、連絡できない状況はない。

市内小中学校の児童生徒に参加が難しい高額な参加費のイベントチラシが配布されている。学校で配布するのは問題ではないか。

個々の案件については、関係各課と確認をし、精査していく。

個人購入の学用品について

学用品購入は、保護者の負担が大きいため見直しが必要。例えば算数セットは短期間しか使用せず、おはじきは1つずつ全てに名前を貼る必要がある。学校備品としている自治体を参考にするなど考えを伺う。

今後学校と情報を集めて状況を精査する。

耳の虚弱(聞き取る機能の衰え)のこと。

聴覚機能の低下による、コミュニケーションの問題や生活の質の低下を含む、身体の衰え(フレイル)の1つ。聴力が低下することで、会話に消極的になったり活動範囲が狭まったりすることが、コミュニケーション不足につながり、認知症やうつ状態のリスクが高まる。

市長から提出された議案のうち、議案第1号〜第7号、第22号は一般会計、各特別会計、公営企業会計の令和4年度補正予算、議案第8号〜第17号は条例の制定、議案第18号〜第20号は指定管理者の指定、議案第21号は専決処分の承認、諮問第1号は人権擁護委員の推薦に関する議案です。

令和4年度佐倉市一般会計補正予算

歳入歳出それぞれ2億5640万2千円を増額するもので、補正後の予算総額は、566億5178万2千円。

歳入は、国庫支出金及び県支出金の増額など。

歳出は、民間保育園等給食費補助事業、市立幼・小・中学校給食費補助事業に係る事業費などの増額。

令和4年度佐倉市一般会計補正予算

歳入歳出それぞれ7億169万9千円を増額するもので、補正後の予算総額は、573億5348万1千円。

主な歳入は、国庫支出金、繰入金などの増額。

主な歳出は、給与改定・人事異動等に伴う職員人件費の補正、水道・下水道事業会計への繰出経費(コロナ対策分)など新型コロナウィルス感染症対応地方創生臨時交付金充当事業に係る事業費、障害者介護給付事業、新型コロナウィルスワクチン接種対策事業などに係る事業費の増額。

令和4年度佐倉市下水道事業会計補正予算

収益的収入及び支出をそれぞれ1435万8千円減額するもの。主な内容は、水道料金の基本料金の減免に係る補正。

主な議案の概要

寺崎学童保育所の定員を20人減員(60人→40人)する一方、第二寺崎学童保育所(定員45人)を新設するもの。

令和4年度佐倉市下水道事業会計補正予算

収益的収入及び支出をそれぞれ1387万4千円減額するもの。主な内容は、下水道使用料の基本料金の減免に係る補正。

佐倉市立学童保育所設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について

寺崎学童保育所の定員を20人減員(60人→40人)する一方、第二寺崎学童保育所(定員45人)を新設するもの。

専決処分の承認を求めることについて

「電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金」の給付のため、国の予備費を使用することが閣議決定されたことに伴い、早急に事業着手するため、市長の専決処分(☆下記参照)により、歳入歳出それぞれ8億9828万6千円を増額する一般会計補正予算として編成したことについて、議会の承認を求めるもの。

令和4年度佐倉市一般会計補正予算

歳入歳出それぞれ1億4614万3千円を増額するもので、補正後の予算総額は、574億9962万4千円。

国の令和4年度補正予算に計上された出産・子育て応援交付金について、早急に事業着手するため。

歳入は、国庫支出金、県支出金及び繰入金金の増額。

歳出は、出産・子育て応援事業に係る事業費の増額。

繰越明許費の補正は、出産・子育て応援事業の追加。

令和4年11月定例会 議案賛否一覧

議決結果欄 可 可決 否 否決 承 承認 同 同意  
 ○ 賛成 × 反対 除 除斥 議 議長

議案番号	議案名	議決結果	さくら会										公明党				自由民主 さくら		市民ネットワーク			ひまわり会と市民オフィスプラザマン		日本共産党		会派に属さない議員					
			No. 9	10	16	17	18	22	23	24	27	28	7	8	25	26	5	6	14	15	1	2	19	4	21	13	20	3	11	12	
			密本成章	岡野敦	斎藤明美	敷根文裕	高木大輔	平野裕子	爲田浩	石渡康郎	櫻井道明	中村孝治	押木孝和	鍋田達子	久野妙子	岡村芳樹	齋藤寛之	石井秀明	徳永由美子	山本英司	松島梢	川口絵未	五十嵐智美	宇田実生子	藤崎良次	木崎俊行	萩原陽子	高橋とみお	稲田敏昭	玉城清剛	
<b>市長提出議案</b> ※白抜き数字は諮問番号																															
1	令和4年度佐倉市一般会計補正予算（令和4年11月28日議決）	可	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
2	令和4年度佐倉市一般会計補正予算	可	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3	令和4年度佐倉市国民健康保険特別会計補正予算	可	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
4	令和4年度佐倉市農業集落排水事業特別会計補正予算	可	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
5	令和4年度佐倉市介護保険特別会計補正予算	可	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
6	令和4年度佐倉市水道事業会計補正予算	可	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
7	令和4年度佐倉市下水道事業会計補正予算	可	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
8	議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
9	特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
10	一般職職員の給与に関する条例及び佐倉市任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
11	佐倉市個人情報の保護に関する法律施行条例の制定について	可	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
12	佐倉市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について	可	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
13	佐倉市立学童保育所設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
14	佐倉市立図書館の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
15	佐倉市立佐倉図書館等新町活性化複合施設駐車場の設置及び管理に関する条例の制定について	可	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
16	佐倉市開発事業の手続及び基準に関する条例及び佐倉市中高層建築物の建築に係る紛争の予防及び調整に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
17	佐倉市営住宅管理条例の一部を改正する条例の制定について	可	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
18	指定管理者の指定について（佐倉市よもぎの園）	可	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
19	指定管理者の指定について（佐倉市さくらんぼ園）	可	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
20	指定管理者の指定について（佐倉市スマートオフィスプレイス）	可	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
21	専決処分の承認を求めることについて（令和4年度佐倉市一般会計補正予算）	承	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
22	令和4年度佐倉市一般会計補正予算	可	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
1	人権擁護委員候補者の推薦について（田中知代（たなか・ともよ）氏）	同	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
<b>議員提出議案</b> ※数字は発議案番号																															
1	佐倉市議会委員会条例の一部を改正する条例の制定について	可	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
2	帯状疱疹ワクチンへの助成並びに定期接種化を求める意見書	可	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3	知的障がい者・知的障がい行政の国の対応拡充を求める意見書	可	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
4	選挙カーで候補者の名前を連呼することをやめる決議	否	×	×	×	×	議	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
5	政治家を先生と呼ばない市とする決議	否	×	×	×	×	議	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
6	防衛費を増大するよりも社会保障を充実するよう求める意見書	否	×	×	×	×	議	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
7	消費税インボイス制度の中止を求める意見書	否	×	×	×	×	議	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
8	強制的なマイナ保険証義務化を即刻中止し、従来の健康保険証制度に戻すことを求める意見書	否	×	×	×	×	議	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
9	原発利用拡大を一方向的に進める政府方針案の撤回を求める意見書	否	×	×	×	×	議	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
10	憲法の平和理念と財政民主主義に反する防衛予算大幅増額の撤回を求める意見書	否	×	×	×	×	議	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
11	宇田実生子議員への高木大輔議長並びに櫻井道明議員の佐倉市議会議員政治倫理条例第3条第6号、第7号に反する行為に対する問責決議	否	×	×	×	議	除	×	×	×	除	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
12	佐倉市議会個人情報保護条例の制定について	可	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

## ホームページをぜひご覧ください

**会議録検索**  
 検索できる会議録はこちら↓  
 ・平成元年以降の本会議  
 ・平成27年5月以降の常任委員会や議会運営委員会など委員会等

**インターネット中継**  
 本会議の様様を、開催時間中にライブ中継、開催日のおおむね1週間後から録画中継を配信

**政務活動費**  
 政務活動費の支出の根拠、取扱基準や経費の範囲の説明、平成29年分からは収支報告書とあわせて領収書を公開中

議会ホームページ 二次元コード

佐倉市議会
検索

2024

議案第1号・第2号・第21号 令和4年度佐倉市一般会計補正予算等に賛成

議案第1号は、エネルギー・食料品価格等の物価高騰の影響を受けた子育て世帯を支援するため、令和5年1月から3月までの3か月間、保育園、幼稚園、市立小中学校の給食費を全額補助するために必要な予算を計上したものである。

なお、早期に事業着手する必要があり、招集日に先議決を行った。

議案第2号は、市民生活や市内における福祉サービスの堅持を支援するため、各種給付金の支給、上下水道の基本料金減免などに必要な予算を計上したものである。

両議案のいずれも、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用したもので、交付金の目的や地域の実情に照らした必要不可欠な事業であるとともに、時宜を得た提案であると判断し、賛成した。

また、議案第21号「専決処分」の承認を求めることについて「は、国から示された住民税非課税世帯に給付金を支給するための予算を専決処分したことについて、承認を求めるものである。

本予算に計上された事業の趣旨が、コロナ禍で困窮した生活の支援であること早期に支給することが重要

であり、専決処分とした結果、年内に支給が開始される見込みであることも評価し、賛成した。

議案第11号 当会派所属議員2名に対する問責決議に反対

提出された問責決議案の主訴は、当会派所属議員2名が、議場においては過度な装飾品を外すべきと、本問責決議案の提案者に助言した行為が、「佐倉市議会議員政治倫理条例」で規定する「政治倫理基準」に反していることを根拠に提出されたものである。

当該条例は、議員による執行部に対する働きかけ行為をきっかけに提案され、平成22年に可決されたものである。

「政治倫理基準」第6号は、「その地位」すなわち「議員の地位」を利用し、相手方に対して強制、圧力をかける行為を禁止するもので、対等な立場にある議員間における行為を対象としたものではないと解するのが一般的であり、当該条例の成立過程を踏まえれば、至極当然の解釈である。

また、本件は、市議会が言論の府であることを踏まえ、過度な装飾を自ら慎むべきとの慣例的な考えに基づきなされた行為であり、会議規則第144条に規定される「品位の尊重」にも合致するものである。よって、第7号が禁止する、ハラスメントや人権侵害に係る行為には当たらないもの

と考える。以上のことから、当該行為をもって、問責することは不適当であり、当該議員2名に対する非難は不合理であると、判断する。

なお、本決議案には、問責の対象としていない2名の実名が記されており、提案者が主張する違反行為とは無関係な人物の実名をさらすことは、名誉を著しく損なう恐れがあり、非常に問題であると捉えている。

公明党

初日先議決の子育て世帯の給食費支援、補正予算の上下水道基本料金減免は、

公明党から「物価高騰から市民生活と地域産業を守る緊急要望書」として市長に提出している。一般家庭の市民の皆様に対し大変有効な物価高騰支援策である。今回、マイナンバーカードの交付を進める増額補正予算も計上され、昨年衆院選で公明党がマイナンバー付与の延長等を強く訴え希望者が増えた。カードを速やかに取得する体制整備予算であり、自治体にとり必要不可欠。昨年策定した「佐倉市DX推進方針」として推進し、恩恵を受けるために、マイナンバーカードは重要な基盤である。

専決処分の承認を求めることは、住民税非課税世帯等の「電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金支給事業」として、生活に困窮する市民の皆様、早

ければ年内に給付できるよう準備。高く評価する。最終日提案の補正予算は、公明党が国で進める「出産・子育て応援事業」について、速やかな経済的支援を2月に給付できるよう準備することと、伴走型相談支援の早期拡充を図るためのもの。これら支援策は、あらゆる広報媒体を活用し、周知に努めていただきたい。

市民ネットワーク

反対する主な理由

議案2号①新佐倉図書館駐車場収入1万9千円。②マイナンバーカード交付申請増による委託。③学校用務員業務委託。委託は県内約36%。直接指示できない委託でなく直接雇用にすべき。議案8・9号議員・市長等特別職の期末手当0・1月分引き上げは、コロナ・物価高騰の下理解を得られない。議案11号民間企業が利活用しやすいよう、国が市独自の個人情報保護条例を廃止させ、個人情報保護法に一元化する改正に反対。議案14号新佐倉図書館の立地に反対。議案15号新佐倉図書館駐車場は無料と明記し、問題がある場合は個別対応すべき。議案20号スマートオフィスプレイス委託料は山万グループに3年間で約6百万円。賃料も山万に年間約9百万円払っている。施設長は山万と兼務。収支計画書もずさん。3年後は損失計上。特定の事業者に丸投げの無責任な選定。

議案第18号から第20号までの指定管理者の指定については、指定された事業者と異論はないものの、同じ事業者が長年管理していることで他の事業者にとって不利な条件になっていることとはないか検証すべきであり、幅広い企業に注目してもらえよう努力を求める。議案第22号の出産・子育て

ひまわり会と市民オンブズマン

市長等特別職及び市議のボーナス値上げに反対

ボーナス年間0・1か月の値上げに反対した。議員政治倫理条例に反する行為(人権侵害)に対する問責決議を提出 賛成した。本問責決議を提出した議員が一般質問直前、男性4人の中で昨年も付けていたブローチを外すよう、威圧的に強制された。言葉で強制した議長と議員の他、看過していた2名の責任も否めない。猛省を求める。行政の権限を必要以上に強くしている新佐倉図書館駐車場使用料条例に反対した。無料範囲を明瞭に定め、市民が利用し易くすべき。

日本共産党

議案第1号に賛成

学校・幼稚園・保育園・こども園の給食が1月から3月まで無償化されるのは前進。子育て世帯の負担軽減は重要で4月以降も無償化が必要。議案第2号に反対 建替えられた新佐倉図書館の駐車場有料化は市民の図書館利用を抑制し地域の活性化にも逆行。年間28台の違法駐車を防ぐ想定で市民に駐車場有料化すればゆっくり本場を選び学習の場となる図書館の教育施設としての機能を低下させる。健康保険証とマイナンバーを一体化させる予算は個人情報漏洩の危険性を増大させる。カード取得の強制は法律違反。

会派に属さない議員

議席3番 走行中の選挙カーがうるさいと考えていたため、走行中の選挙カーで唯一大音量を出すことが法律で認められている「候補者の名前の連呼」を止めようとする決議を上程したが、否決された。これで、佐倉市の選挙戦は例年通り「名前連呼でうるさい選挙」となる。

議席11番 議案第6号に賛成。戦争は人の命を奪い、負の連鎖を招く。抑止力として岸田首相は軍事費を5年間で総額43兆円にすることを明言。抑止力に際限はない。社会保障費の削減と増税・受益者負担増で生活困窮者が増大。憲法を活かして人間らしく生きられることが大切。

議席12番 コロナ禍や物価高騰で市民の大多数は疲弊している。内部留保対策で一部の企業は昇給もあるが、中小企業では、昇給すらできず倒産れずに。議員並びに市長、副市長、教育長、上下水道事業管理者の手当引き上げの議案8・9号に断固反対。

※議席番号と議員名の確認は6ページの議案賛否一覧をご覧ください。

## 委員会報告

※議案は市長提出議案 ○委員長 ○副委員長

### 総務常任委員会

#### 《審査結果》

議案1	議案2	議案3	議案8	議案9
可決	可決	可決	可決	可決
議案10	議案11	議案12	議案21	議案22
可決	可決	可決	承認	可決

開催日：令和4年11月28日／場所：第四委員会室、12月12日／場所：第三委員会室、12月19日／場所：第四委員会室

議案10件について審査し、その結果は左表のとおりです。  
なお、審査の過程において、次のような意見が出されました。

- ・ふるさとまちづくり応援寄附推進事業については、専用サイトの追加や返礼品の充実といった取り組みを評価するところである。今後は、市の魅力発信にもつながるような、返礼品の周知についてもさらに検討していただきたい。

〔委員〕◎久野妙子、○徳永由美子、宇田実生子、稲田敏昭、玉城清剛、敷根文裕、中村孝治

### 文教福祉常任委員会

#### 《審査結果》

議案1	議案2	議案5	議案13	議案14
可決	可決	可決	可決	可決
議案15	議案18	議案19	議案21	議案22
可決	可決	可決	承認	可決

開催日：令和4年11月28日、12月13日、12月19日／場所：第三委員会室

議案10件について審査し、その結果は左表のとおりです。  
なお、審査の過程において、次のような意見が出されました。

- ・佐倉市立佐倉図書館等新町活性化複合施設駐車場の管理・運営については、使用料の減免対象や手続き等の周知徹底を行い、利用者間で不平等が生じないよう適正な運営に努めていただきたい。

〔委員〕◎平野裕子、○斎藤明美、川口絵未、高橋とみお、石井秀明、押木孝和、藤崎良次

### 経済環境常任委員会

#### 《審査結果》

議案2	議案4	議案20
可決	可決	可決

開催日：令和4年12月14日／場所：第三委員会室

議案3件について審査し、その結果は左表のとおりです。  
なお、審査の過程において、次のような意見が出されました。

- ・佐倉市スマートオフィスプレイスについては、指定管理者審査委員会の付帯意見を踏まえた対応に努めるとともに、積極的な広報や関係機関との連携を図るなど、利用促進に向けて取り組んでいただきたい。

〔委員〕◎岡村芳樹、○岡野 敦、松島 梢、齋藤寛之、高木大輔、萩原陽子、櫻井道明

### 建設常任委員会

#### 《審査結果》

議案2	議案6	議案7	議案16	議案17
可決	可決	可決	可決	可決

開催日：令和4年12月15日／場所：第三委員会室

議案5件について審査し、その結果は左表のとおりです。  
なお、審査の過程において、次のような意見が出されました。

- ・水道料金及び下水道使用料の基本料金減免については、物価高騰対策として、多くの市民にいきわたる施策であり大変評価できるものである。事業開始にあたり、しっかりとした周知をお願いしたい。

〔委員〕◎爲田 浩、○密本成章、鍋田達子、木崎俊行、山本英司、五十嵐智美、石渡康郎

### 議会改革推進委員会の協議結果について（答申）

佐倉市議会では、継続的に議会改革に取り組むため、議会改革推進委員会を設置し、協議を行っています。このたび、同委員会から議長へ協議結果の答申がなされました。

#### ■タブレット端末の活用・議会のペーパーレス化について

議会へのタブレット端末の導入についての検討を重ね、導入は令和5年の改選後からとし、導入目的等を明記した「タブレット端末を活用した佐倉市議会ICT化方針」を定めました。

- 導入するタブレット端末の通信方式はWi-Fiモデルとする。
- その通信費については、按分の上、政務活動費を充当できることとする。
- タブレット端末の使用ルールとして、佐倉市議会タブレット端末使用基準を制定する。
- オンライン会議の実施を可能とするため、佐倉市議会委員会条例、佐倉市議会会議規則を改正する。
- 議場、委員会室に電子機器の持ち込みを認めるため、議会運営委員会申し合わせ事項を改正する。
- クラウド型文書共有システム、チャットアプリ等の運用方法を明記した佐倉市議会会議用システム及びグループウェア等の利用に関する要領を作成する。



議長室にて：左から高木議長、岡村委員長

令和四年の世相を一字で表す「今年の漢字」は「戦」でした。私は個人的には今年の漢字を「進」と考えました。それは、物価の高騰も進み、円高も進み、いまだコロナ禍も進行中という理由です。DXの時代に伴う議会の改革を進め、市政のデジタル化を進め、必要な方に必要な支援ができるよう、笑顔輝く佐倉を一步ずつ前へ進めて参ります。

（広報公聴委員 岡野 敦）

今年度の意見交換会も、アンケート形式で開催しました。ご協力に心より感謝申し上げます。新型コロナウイルスが子育て家庭に与えた影響、多感な幼少期を閉塞の中で過ごすことの影響が、未来を担う子ども達の成長過程にどのような影響を及ぼしたのか不安でなりません。結果をしっかりと分析し、議会活動に活かしてまいります。

（広報公聴委員 密本 成章）

## 議会百景

### アンケートへのご協力のお礼

佐倉市議会では、コロナ禍における子どもの現状と課題を把握し、今後の政策提言等につなげるため、11月中旬から12月中旬までの期間に、市内保育園、幼稚園、認定こども園及び学童保育所を利用する保護者（対象は約5,000世帯）の方へインターネットアンケートをお願いしたところ、1,391名の方にご回答いただきました。

アンケートへのご協力、誠にありがとうございました。なお、集計・分析結果は、とりまとめ次第、公表させていただきます。



### 「佐倉市議会だより No.106」掲載記事のおわびと訂正について

11月1日発行の佐倉市議会だより No.106 の掲載記事「市政に関する一般質問」における松島梢議員（会派・市民ネットワーク）の記載に一部誤りがありました。

おわびいたしますとともに、下記のとおり訂正いたします。

誤：答 県にて拡充している。

正：答 市での実施の予定はない。

### 2月定例会の予定

- ◆議会運営委員会 2月14日(火)
- ◆招集日 2月20日(月)午後1時から
- ◆一般質問 2月27日(月)～3月2日(木)
- ◆常任委員会 3月6日(月)～9日(木)
- ◆最終日 3月13日(月)午後1時から

☆日程は変更になることもありますので、詳細につきましては議会事務局までお問い合わせください。  
議会事務局 TEL043-484-6254

－本会議（招集日・一般質問・最終日）の映像－  
□インターネット中継：開催時間中にライブ中継するほか、開催日のおおむね1週間後から録画中継を配信  
□CATV放映：開催日翌日午後5時30分から放送  
【地上デジタル 10ch、デジタルCATV 301ch】